

令和3年12月3日開催の企画研修『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応の実践』
で行いましたWebアンケートにてご質問をいただきましたので回答いたします。

*質問部分については一部抜粋して掲載しております。

Q1.

PCR検査陽性者=感染者と考えてよいのか。「≠」であるとの意見もあり、考え方の整理が難しい。個人的には、他人にうつす可能性があるのなら無症状であっても感染者だと考える。このことについて、考え方を整理してご教示いただけたらと思います。

A1. (講師回答)

PCR陽性であれば感染者として考えて良いと思いますが、擬陽性の場合もあります。他施設からの行政提出のPCRが陽性であるが全く感染の疑いがなく当院へ再検査依頼があり、その方は陰性というケースもありました。これは稀なケースだと考えます。

基本PCR陽性であれば無症状でもCOVID-19は周りへ感染させるので感染者として対応する必要があります。

Q2.

後遺症外来は民医連中央病院にありますか？他、開設されている病院は京都府内にありますか？

A2. (講師回答)

当院では後遺症外来は実施しておりませんが京都府で以下の窓口があります。

「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」←これでネット検索すると出てきます

TEL：075-414-5338

後遺症の症状や体調に関する相談や医療機関へ繋げてくれる窓口になっています。

Q3.

ワクチン接種が進むと、ワクチン接種していない高齢者がサービス利用を拒否される場面が出てきています。それらについても行政や職能団体ではどのように把握、解釈されているかお聞きしたいです。

A3. (講師回答)

この質問については、感染管理認定看護師のところではあまり情報はありません。介護支援専門員の皆様のネットワークのなかでの方が情報があるかと思います。

調べてみると自治体によってはワクチン接種が2回実施されていない方の受け入れを停止しているところはあるようです。以前クラスターを起こした施設は特にあるようです。

しかし運営基準では正当な理由なくサービス提供を拒否してはならない、と定められており自治体での判断で行政・国は正当な理由ではないという見解のようです。

Q4.

マスクの使用頻度について、外出から帰った時に外して（食事の時等）そのマスクを再度使用しても良いでしょうか。訪問時コートなど次亜塩素酸での消毒はした方が良いですか。

A4. (講師回答)

不織布マスクやサージカルマスクなど使い捨てのタイプは基本1日1枚使用の交換になります。外出から帰ってから、食事後に再度使用は問題ないと思います。外した時はマスクの表面にはウイルスや汚れが付着しているので袋やティッシュなどに包んで置いておくが良いです。

コートには余ほどのことがなければウイルスの付着は問題ないと考えます。コートに付着したウイルスからの感染よりは私たちの手を介しての方が感染リスクがあるので訪問前後での手指衛生が大切です。

Q5.

検査のことをご教示お願い致します。「発熱の症状が発生してすぐに検査すると偽陰性で出ることがあるので少し時間を空けて…」と医師に言われたケースがあります。PCR検査は無症状でも確認方法として使えると認識している中で、症状が出てから少し時間を空けて検査をする方が有効というのは具体的にどの程度時間を空ける必要があるのか目安が知りたいです。

A5. (講師回答)

ウイルスの排出量を考慮して医師は言われていると思います。発症（症状出現）する2日前から発症後10日間は陽性率は高い（70%くらい）と言われています。発症後すぐにPCR検査をすると偽陰性となることがあり正確な結果を得られない場合があります。陽性者と接触した場合は接触後1～2日でのPCR検査は偽陰性になる確率が高いですが、当院の経験で第5波では症状出現して翌日受診の方でも多くの方がPCR陽性となっていました。

Q6.

現在、私の事業所ではゴーグルの使用はしていませんが、ゴーグルの重要性と効果について教えてほしいです。

A6. (講師回答)

研修会でもお話ししましたが、COVID-19 の感染経路は飛沫・接触感染になります。お互いマスクを装着していれば感染リスクは低減しますがくしゃみ・咳または大声を出すなどで小さな飛沫（唾・鼻汁など）が目に入ると感染します。目からの感染を予防することに大きな効果があります。特に相手の方がマスク装着できないケースではゴーグルは感染予防に効果があります。

また私たちは無意識に顔を触っています。手指衛生ができておらず手に付着したウイルスが目をごすった際に曝露する恐れがあります。マスク・ゴーグルをしていると手が口や目に触れないので、触れさせないという意味でも効果があります。

Q7.

ワクチン接種は強制ではないのですが、新型コロナに罹患したら高齢者は重症化していくなどの説明を行っても、ワクチン接種を拒否している利用者に、どのように対応していけばよいでしょうか。

A7. (講師回答)

これは難しい問題だと思います。感染することで重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方には接種して欲しいですが、ワクチンは任意であり強制できません。当院職員でも不安を払拭できると考え説明をしても漠然とした不安がぬぐい切れず拒否する方がおられます。その場合は本人の意思を尊重しています。

ワクチンを拒否している理由が何か分かれば、それについて説明できれば良いかと思います。ワクチンは安全であることや罹患することの方が高齢者の方はリスクであることをお伝えするしかないでしょう。ワクチンについては「首相官邸」新型コロナワクチンについて、また厚生労働省内のコロナワクチン情報に副反応や効果について説明されているので参照頂けたらと思います。

また接種していないというだけで周囲から差別を受けないよう注意が必要です。

Q8.

感染した職員および利用者はいないことから事業所としてのPCR検査はしていません。しかし、症状無くとも感染していた可能性があるかもしれないと考えることがあります。抗体検査をすることで、何かしらの効果（意識づけ等）になると考えられることはあるでしょうか。

A8.（講師回答）

当院はクラスターの経験はありますが職員への定期的なPCR検査は実施していません。今は、感染経路不明なケースが陽性者の半分程度です。市中感染が普通になっています。検査をしたタイミングで感染していれば分かりますが、検査直後に感染する場合があります。定期的な検査よりは日常での感染対策を実施し、陽性者が出ても濃厚接触者を作らない感染対策（マスク・ゴーグル・手指衛生・リスク行動を避ける）の方が重要かと思います。

ただオミクロン株の市中感染が発生しているので行政から何らかの指示があるかもしれません。

Q9.

目の保護はメガネでも大丈夫でしょうか。目が悪くゴーグルではみにくくなります。メガネは隙間があるので不安もあります。

A9.（講師回答）

感染対策上、眼鏡はゴーグルほど効果がないと言われていますが業務に支障が出る場合は仕方ないかもしれません。隙間が多い眼鏡ほど曝露リスクは高いので眼鏡の形は意識された方が良くかと思います。花粉症用の眼鏡や曇る場合、曇り止めは効果があります。当院はこのタイプを使用している方が多く、眼鏡の上から使用しています。フィルム部分は取り換えタイプですが使用後はアルコールで消毒して繰り返し使っています。



【Amazon.co.jp 限定】山本光学
YAMAMOTOハイスベックモデル
AZYF-850S 超軽量 医療用 反射
防止 フェイスシールド クラス
本体セット(フレーム1本+レンズ2枚
) サイドパーツ:クリア 眼鏡 / マ
スク併用可 日本製

Q10.

新型コロナウイルスの感染症の発症者本人、家族の不安や悩み等を相談できる機関があれば教えてください。

A10. (講師回答)

京都府では「きょうと新型コロナ医療相談センター」があります。Q&A式で記載もあるので案内してみてください。どこまで相談にのってくれるかは分かりませんが、すみません。

TEL：075-414-5487

「京都市情報館」という京都市のサイトにも色々と参考になることが説明されています。

Q11.

警戒期間が長期にわたり、“慣れ”との戦い方が大事になっているように感じています。感染がおこったときの結果の影響の大きさを伝えたり、上がっている感染者情報は氷山の一角であることを伝えたり、大事な命を守るため、などを相手に合わせ使います。その他の伝え方などがあれば、ご教授いただきたいです。

A11. (講師回答)

慣れてくると皆さんの意識も薄れてきますね。ここに書かれているようなことを病院でも継続して伝えています。

パワーバランスは重要だと思いますが特に医療関係者は自身の安全プラス、患者・利用者・職員にも関わってくることを同じように伝えています。内容を見ても、しっかりお伝えできていると思います。

自分の家族を守るという身近な人の命を守るということも重要だと思います。ただ制限ばかりを話してもストレスが増大するだけなので、ワクチン接種がすすんでいるので感染対策をしながら施設ごとに可能な範囲で出来ることを示すことも良いかと思います。

Q12.

独居や高齢世帯の方に、発熱者があった場合、受診の判断をケアマネがしないといけない場面があります。どのような手段で病院に行けば良いのでしょうか。

A 12. (講師回答)

COVID-19 陽性者への送迎は行政が手配してくれるのですが疑いの時点での対応はありません。

発熱外来に来られる方には、なるべく公共交通機関は利用しないようにとは伝えていますが、自立で車がある方に限ります。救急隊の方には申し訳ありませんが、このような場合は高齢者であれば救急車を呼んでもらうことが多いです。

Q13.

感染予防には、マスクとゴーグルを着用しての対応が必要ですが、ゴーグルは眼鏡でも代用可能でしょうか。

A 13. (講師回答)

回答A9.を参照

Q14.

実際に新型コロナウイルスに感染された方の 症状のつらさや感想等を聞いてみたいです。

A 14. (講師回答)

現場の師長に聞いてみました。

症状としては高熱・倦怠感・咳が特につらいそうです。COVID-19 特有の味・嗅覚障害による食欲低下。何も食べたくないようで、若い方でもゼリー食や水分のみという状況があります。食べてもゴムを食べている感じだそうです。咽頭痛による飲み込みにくさもあります。体力の低下も著しく、リハビリをしないと、筋力低下あり、すぐに仕事に復帰できない方もおられました。

また精神的な落ち込みもあります。自分が他の人(職場・家族)に感染させたのでは、という罪悪感や退院後にもとの生活・仕事に戻れるかという社会的な不安も多いようです。元気になって本人は退院したくても、退院基準を満たすまで退院できないもどかしさ、辛さもあります。

家にいる家族・ペットが心配なども。